

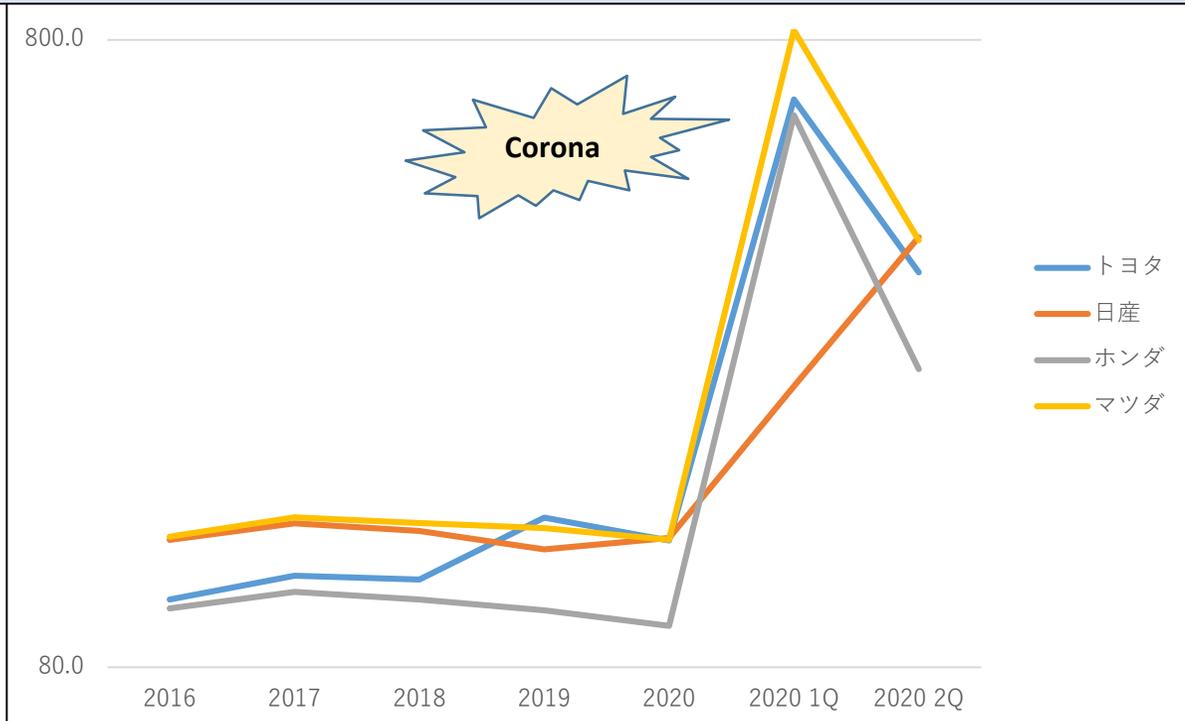
資金循環速度 (SCCC) 改善プロジェクト

ピンチをチャンスに  
「カネの流れ10倍速に向けて」  
「支払いはより早く」

SCCC (サプライチェーン資金循環速度)

$$= \text{棚卸資産回転日数} + \text{売上債権金回転日数} + \text{仕入債務回転日数}$$

$$= \text{棚卸資産} / \text{売上原価} \times 365 + \text{売上債権} / \text{売上高} \times 365 + \text{仕入債務} / \text{売上原価} \times 365$$



新KPI

$$SPL = \frac{\text{Sales 多いほど良 (量)}}{\text{SCCC 速い程良 (速度)}}$$

$$GDP\text{効率} = \frac{\text{GDP 多い程、良 (量)}}{\sum \text{SCCC 速い程、良 (質)}}$$

企業も国も過去と比較し良くなり続けるべき“進化指標”。

旧KPIの粗さ：会計の「利益」、国の「PB」は  
「変量不明の2定点差額」

新KPIでは、流れ悪化、在庫増。ムダな公共投資は  
GDP効率悪化。(積極財政の健全度=持続可能性)

『政策提言：ポスト・コロナ経済V字回復ーカネの流れ10倍速作戦』  
兼子邦彦・河田信、名城論叢2022.3

SCCC	2016	2017	2018	2019	2020	2021 1Q	2021 2Q
トヨタ	103	112	110	139	127	643	341
日産	128	136	132	123	129	225	388
ホンダ	99	106	103	99	93	607	239
マツダ	129	139	136	133	128	829	384
GM	169	171	176	183			
FORD	277	230	237	236			

業種別 S C C C (2014-2016平均値) より

	総括表 (2014-2016平均)			
	①	②	③	①+②+③
(2014-2016平均)	受取債権	仕入債務	棚卸資産	SCCC 日数
<b>自動車</b>				
トヨタ	28.0	40.2	34.6	102.9
日産	25.5	57.9	47.7	131.2
本田	54.6	43.3	52.4	150.3
マツダ	23.3	55.8	55.1	134.1
<b>重電</b>				
日立	100.9	68.8	69.7	239.3
東芝	83.1	86.5	66.8	236.3
三菱電機	87.7	92.2	77.9	257.7
<b>ゼネコン</b>				
鹿島	120.5	96.4	110.6	317.9
大成建設	100.6	96.2	140	337.9
清水建設	113.3	98.2	105.9	317.7
<b>重工業</b>				
三菱重工業	113.8	98.3	147.2	359.2
川崎重工業	103.2	95.6	152.0	350.8
住友重機械	105.5	93.1	105.9	304.5

**元気を出そう！**  
 「大企業にカネは溢れているのに流れない」  
 多重下請け構造の中  
 小中工業

**率先垂範！**  
 公共工事の『盆暮れ払い』  
 ⇒60日以内払い  
 ⇒ **デジタル化**  
**の大前提**

中部地区モデル  
 BtoB受発注伝票QRコード化  
 + 三段階突合

カネの流れは、技術ではなく、**商習慣**の問題  
 「速度生産性」に目覚め、年1回転の資金が2回転するようになれば、マネーストックは倍

「支払いはより早く」の民への働きかけは既に2016から。

## 中小企業庁指針 (2016年)

「繊維業90日以内、その他の業種は、120日以内は当然のこととして段階的にこれを短縮し、**将来的には60日以内とするように努める**」

(中小企業庁振興基準「未来志向型の取引慣行に向けて」(2016/9/15))

## 2020年内閣府骨太方針

**2023年**までに、日本のサプライチェーン単位での資金循環効率(サプライチェーンキャッシュコンバージョンサイクル:SCCC)を**5%改善**することを目指す。

だが未だ民の山は動かず?



官の公共工事から率先垂範は如何!

- ◎ 手形サイトが90日と120日に張り付いている現状に対し、2024年4月を目標に、**手形サイトを60日に改善する**。**また、割引料は、元請け企業よる負担を進める**。  
これにより、**割引料やファクタリングの軽減をはかる**。
- ◎ 2026年までに、)約束手形の廃止を実現する。

2016トヨタ自動車(+デンソー、アイシン、豊田自動織機)は 中小企業庁指針に沿って、**支払い手形を廃止**。

SCCC

# 中小企業生産性とマクロ経済政策の共通項 ：“量”から“流れ”への価値観転換

カネの流れ10倍速  
2段階作戦

サプライヤーを含む  
リードタイム生産性革命



「ダムにカネは溢れているが流れない」  
カネの流れ速度生産性革命

メッタに流れさない  
「盆暮れ払い」

政府・自治体公共工事

デフレで消費・投資進まず

第1段階：中小企業振興基準  
全産業 60日以内支払



商流・金流  
月末払いと月ズレ

第2段階：検収後60日水準  
(自動車産業の場合) 週⇒瞬間払いへと、IoT・Fintech、DX との合わせ技で。  
「スーッと流れる1個流し」と翌日払い (小島プレス)

IoT  
FinTech

翌日払いから  
瞬間払いへ



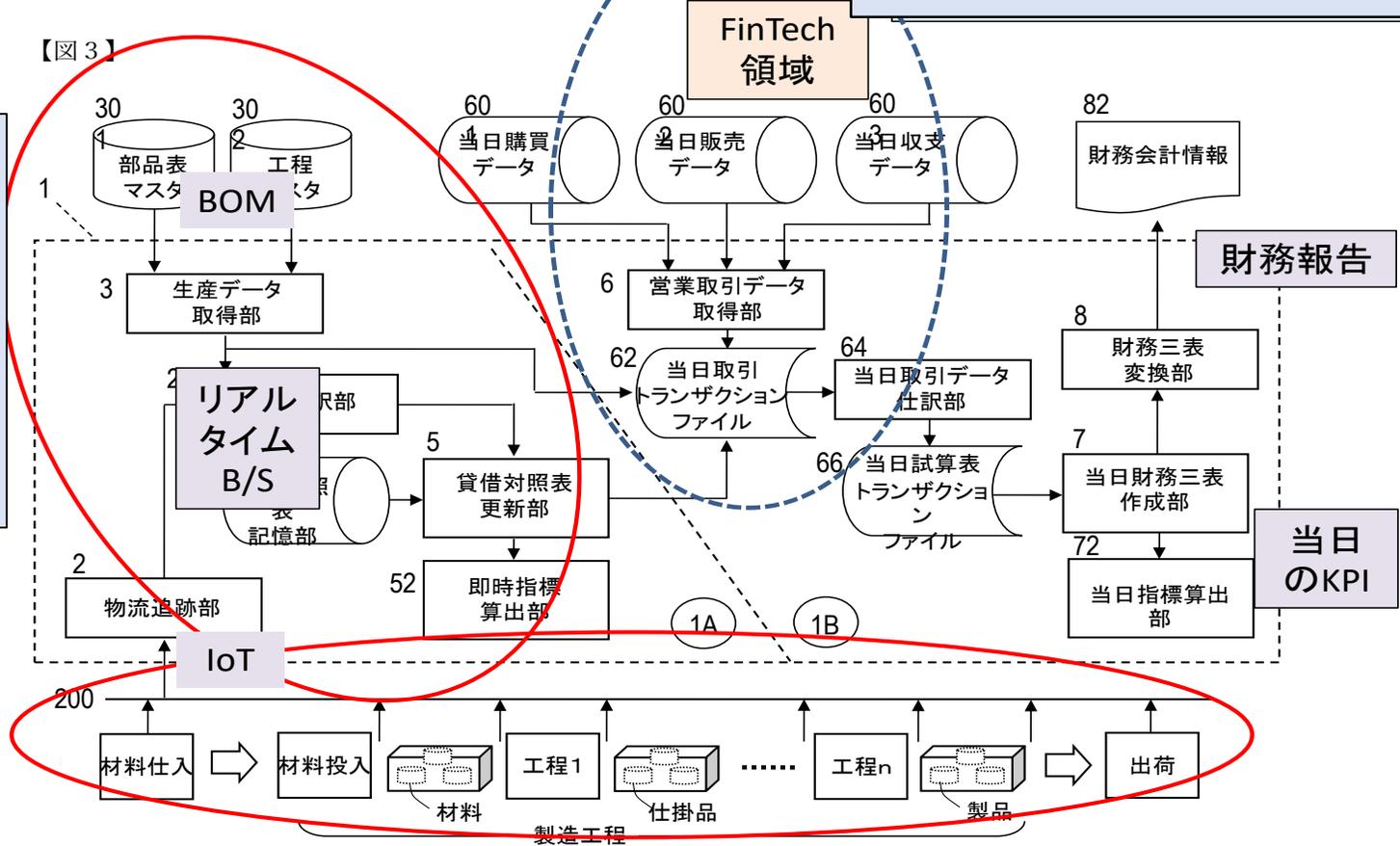
積極財政+マネーストック増で  
デフレ脱出



# リアルタイム貸借対照表によるSCCC日々更新

# SCCC・リアルタイム 経営推進協議会

【図3】



## 流れ創り 志向型DX

- IoTに基づいてリアルタイムに貸借対照表を更新。
- 「量志向」から「速度志向」への価値観転換を促す。
- 目指すのは、プロセスを磨き、モノとカネのリードタイム短縮と資金循環速度を促す。
- 進化とSDGs 志向のDX構築

**DX (Transformation とは価値観の組み換え)**  
 良い価値は保持 (必要条件)  
 新しい価値は付加 (十分条件)

国内特許取得 — 2021.3.30(特開2018-106283)  
 • 発明名称：「リアルタイム貸借対照表システムおよび資金循環速度評価プログラム」  
 • 出願者：SCCC・リアルタイム経営推進協議会 発明者：小島洋一郎 ほか3名  
 • 展開方法 **無償実施権供与でビジネスパートナーの拡大と社会貢献**